

保育北九州

令和4年10月1日
発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話 (093)661-2153番
発行人 酒井 光 義
編集人 西 敏 昭

2022 209

にじのした

(3才児の作品)



私は保育一筋に生きてきました。ちよつとこれは言い過ぎでした。でも、いつも頭の中に保育のことはあり、友達と一緒に買い物に行っているとき「あ、保育士の目になっているよ」と言われることがしばしばありました。保育のアンテナがピツピツと知らず知らずに働いてゐる。もちろん他に好きなことはしています。フラワーアレンジメントや絵手紙教室に通ったり、ケーキやパンを焼いたり観劇をしたり。こう書くとき保育一筋はかき消したほうがいいですね。ただ、30代の時に「あなたはこの仕事が天職ですね」と言われたことがあり、自分もそう思い込み楽しんでいたことは確かです。

このコロナ禍になって始めたこともあります。それは心理学を学び始めたことです。その心理学の理念はQOLの向上「幸福」とは、心身の健康、良好な人間関係、やりがいのある仕事で自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出すこと。

ビジョンは大人が笑顔で夢を語り、子どもが未来に希望を持つ、幸せ度の高い国にする。

ZOOMで全国各地からいろいろな職業の方々が参加しています。感覚としては年齢も違うのですが、気心知れた幼馴染のような感じです。昨年はリアルで一泊セミナーもありました。その時はめちゃくちゃ嬉しくて抱き合っ

て喜び合いました。安心安全の場で、全てをさらけ出して考えをシェアしています。今は3年目に入りました。学ぶことが楽しくて、その学びを事務室でアウトプットしています。もう、楽しくて仕方ないのです。園の中では色々なことが起こります。落ち込んで悩んで、時には相談に乗ってもらったり、励ましてもらったりして、過去と人は変えられない」を学習し、気持ちを切り替える、リフレミネングすることができるようになってきています。

先日、とっても楽しみにしていた(2年間会っていない青森に住む息子と会う)ことができなくて、その時は落ち込みましたが、今のこの環境を落ち着かせる、息子に伝えると息子も楽しいことを見つけてその期間を過ごしました。いろんな感情はあってもいい、口角2ミリあげていたら脳は楽しいのだと錯覚する、笑うと楽しくなる。歯磨きをするようにライフスキルを磨いています。学んだら実践、うまくいかなったら改善する。その繰り返しです。

究極の幸せとは、「人から愛されること」「人に必要とされること」「人の役に立つこと」「人から認められること」の4つです。愛される以外の要素は社会とのかかわり、仕事を通じて得られる幸せです。

目に見える満足から、目に見えない幸福へ。目には見えないものが大切な時代になってきています。これからも学び実践し続けます。

新栄たてまち保育園

深堀和枝

おじいちゃん、おばあちゃんといっしょ

〈提供 八幡東支部〉

(5才児の作品)

表紙	1
橘原淳信先生を偲ぶ	2～3
仲間たち	4～5
研修・一期一会	6
元気のもと	7
雑感・編集後記	8

編集後記 — 「一期一会」 —

2022年5月26日、前北九州市私立保育連盟会長 橘原淳信先生が83歳を一期として保育制度向上や保育発展に大きく寄与されてこられた生涯を閉じられました。

会長に就任されてからも日々、連盟や保育の為に尽くされたご功績は私たち誰もが敬服するところです。

その穏やかで高潔なご人格は全国私立保育連盟副会長や北九州市私立保育連盟会長等を歴任し、職務で培った知識や経験を活かしての手腕を発揮され、北九州市において保育大会が担当で開催された折、「保育は北九州から」の思いと、おもてなしの心を忘れずに精一杯率先して行動していたお元氣な姿が走馬灯のようによみがえります。

また、定例施設長会の折には、次々と新たに施策が打ち出されて

いるこのような変革の時期に、「少しでもこれまで会長としての職務で培った知識や経験等がお役に立てれば」と就任のあいさつに述べられており、常にいち早く国の子ども子育てに関する情報を報告して戴いていました。

会食後の席ではお酒がはいると、いつも歌手のフランク永井氏の『おまえに』を低音豊かに熱唱されていた姿が思い浮かびます。

先生のご遺志を継いで社会的責任と役割を果たすため、時代が変化しても未来ある子どもたちが、健康、安全に安定感をもって暮らせる社会をめざして取り組んでまいりたいと思います。

「保育北九州」209号追悼ページでは市保育所連盟会長・私立保育連盟会長・保育士会会長にはお忙しい中、橘原淳信先生追悼文を戴きましたことここに感謝申し上げ御礼の言葉といたします。

「保育北九州」編集長 西 敏 昭

(公社)全国私立保育連盟 顧問
(公社)北九州市私立保育連盟 前会長
橘原淳信先生を偲ぶ



(公社)北九州市私立保育連盟
会長 岡村 信久

令和4年5月26日 橘原淳信先生が急逝されました。享年83歳のご生涯でした。先生のご訃報に接した時は、余りにも突然のことで大変驚きました。

今年の1月4日にご自宅を訪問し、年始のご挨拶とお見舞いを申し上げたのが最後となりました。

先生はその頃入退院を繰り返されておられましたが、思いのほか元気なご様子で少なからず安堵しておりましただけに、誠に残念であり無念でなりません。

先生は、平成22年から令和元年までの10年間、九州の代表として全私保連の副会長を務められました。「子ども・子育て会議」委員に委嘱された平成25年からの2年間は、全私保連代表として一日も欠かさず会議に出席され、子どもたちの健全育成のための意見を実直に述べていただきました。

地元では、北九州市私立保育連盟会長として、毎月の定例施設長会議において、国や全国の保育に関する動向について、細やかに解説して下さいました。

このような長きにわたる保育へのご功績により先生は平成27年春の叙勲において、「瑞宝双光章」を受章されました。

5月27日通夜、28日葬儀では会場内に収まり切れないほどの全国からの供花と遠来から多くのご弔問やご弔電をいただき、地元の保育関係者は改めて先生の偉大さを思い知ったことでした。

今後、私たち北九州の保育関係者は、偉大な先達として今も敬愛する全私保連会長を務められた故西村法昭、西村良樹両先生をはじめ、今は亡き藤岡佐規子先生、北野一恵先生、橘原淳信先生が全国の保育をリードしながら育んでこられた「北九州の保育者魂」を真摯に受け継いでまいる所在です。

末筆ながら、橘原淳信先生のご遺徳を偲び、謹んで哀悼の誠を捧げ、追悼の言葉とさせていただきます。

北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義

私保連常任理事会出席の折、突然に入ってきた知らせに驚いたことでした。またその後の定例施設長会で、その訃報を皆様にお伝えする岡村会長の無念さがひしひしと伝わってきました。

年の初め、体調が思わしくないとのお知らせを受け、岡村会長、清田前事務局長と一緒に「ご自宅へお伺いした折り、会話する中「調子が悪いちゃのー」という言葉はできるものの、すっかりした様子に少し安堵した心持ちでお別れしたことでありましたが、それが最後になるとは思ってもみませんでした。年度末や新学期にあたり、なかなか再度のお見舞いができなかったことがとても悔やまれます。

淳信先生が会長在職中、全国私立保育園連盟の副会長に就任された時から、国政においても保育の代表者として奮闘され、全国にその名を知られるようになると同時に、その活躍の場は中央にも移り、十二分に力を発揮されていたことは間違いないことです。また持ち前の親しみを持つてのお付き合いに、多くの友人を持たれていたことは言うまでもありません。

以後、団体は違えども北九州市の会長職としての思いを熱く語り、様々な場面でご指示いただいたことは、私にとって

は貴重な財産でもあり、会長という職務の重大さを認識させていただいたことでもありました。

在りし日のお姿を偲び、あらためて連盟設立当初から淳信先生へと脈々と続く北九州の保育魂は、次世代に伝え実践していく思いをお伝えし、私共をお浄土よりご照覧くださいますよう念じつつ追悼の言葉と致します。

北九州市保育士会

会長 北野 久美

このたびの「保育北九州2009号特別企画」橘原先生追悼にあたり改めて謹んでお悔やみ申し上げます。

この2年立て続けに大きな存在を亡くした私には、私たちには、大きな哀しみと喪失感でいっぱいです。

橘原先生は本当に思いやりのある方でした。

阪神大震災の3日後、夫が網膜剥離であわや失明で、緊急入院した産業医大に、ちやうど先生も数度目の入院加療中でした。病棟が違うのに、わざわざ点滴のまま駆け付けて、励ましてくださいました。ご自身もお辛いのに、走るように来ていただいたあのお姿は、30年近く経った今でも忘れられません。そして橘原先生はとてもユーモアのある方でした。

どんなに難しい会議の際も、必ず周囲を和やかにする「ダジャレ」をおっしゃって、「このネタはね、浅草の寄席で仕入れてきたよ。寄席はいいね。歴史も酸いも甘いもよくわかる!」と勧めていただき落語好きな私もすっかり寄席ファンになりました。

特に同じ南区で保育者生活を過ごさせていただきましたので、想い出は尽きません。もちろん悦子先生との想い出も! 人生の先輩として、愛情深く見守って下さった先生の温かさはずっと私の中で消えることはないでしょう。

先生!きつと今頃は彼方で皆様と保育談義をされていることでしょう。不甲斐ない現状を嘆かれていらつしやるかもしれないませんが、どうぞこれまでのように、温かくお見守りいただき、この難局を乗り越える勇気をいただけたらと思います。

心よりご冥福をお祈りいたします。

故橘原 淳信先生の経歴

生年月日 昭和14年5月1日
ご逝去 令和4年5月26日 〈享年83歳〉

○所属

社会福祉法人光法会光法保育園

○就任

昭和60年1月1日

○退任

令和4年3月31日

○役職歴

平成15年4月 北九州市保育所連盟 小倉南支部長
平成18年5月 (公社) 北九州市私立保育園連盟 会長
平成21年4月 九州私立保育園連盟 会長
(社福) 北九州市保育事業協会 理事長
(公社) 全国私立保育園連盟 副会長
子ども・子育て会議 委員(内閣府)
九州私立保育園連盟 会長
(公社) 北九州市私立保育連盟 顧問

○賞罰歴

平成5年12月 北九州市社会福祉協議会 会長表彰
平成8年11月 北九州市保育所連盟 会長表彰
平成10年7月 全国私立保育園連盟 会長表彰
平成12年2月 北九州市長 表彰
平成14年11月 全国保育協議会 会長感謝状
平成15年10月 福岡県知事 感謝状(社会福祉功労)
平成17年11月 全国保育協議会 会長表彰
平成20年10月 福岡県社会福祉協議会 会長表彰
平成21年10月 福岡県知事 表彰(社会福祉功労)
平成21年11月 厚生労働大臣表彰(社会福祉功労)
瑞宝双光章 受章



研修・一期一会

令和4年度 キャリアアップ研修 乳児保育研修

令和4年度5月23日、24日、25日(午後)、6月1日にリモートで行われた乳児保育研修に参加させていただきました。

1日目の午前は「乳幼児の発達」について臨床心理士の山田幸代先生から「不利益・不便だからこそ考える利益がある、そして乗り越える工夫をする」という言葉が印象に残っています。午後は北九州わらべうたサークルづくほんじよ主宰、山下香代子先生から「心を育てるわらべうた」について学びました。子どもが失敗した時に私たちはチャンスと捉え、成功に向けた知恵を働かせる・勇気づけの言葉を探していきましょうと言われていました。

2日目の午前は「乳児の食育と栄養」について北九州市子ども家庭局、保育課栄養指導担当係長の中山由紀子先生より、離乳食の現状や食べさせ方などについては、様々な資料をもとに説明をして頂きました。

2日目、3日目の午後は中村学園大学准教授、野中千都先生「乳児保育の意義」、「乳児保育の環境と保育計画を考える」の二項目から話をして頂きました。平成30年に改訂された保育所保育指針の内容がどのように変わったのかグループ討議をしました。社会の変化に合わせてその都度中身は充実してきているため、専門職である保育士等は保育所保育指針の考え方、保育のねらい及び内容などを理解し、保育に活かしていきたいと思います。

4日目の午前は「子どもとメディアを考える」をテーマにNPO法人子どもとメディア常務理事、古野陽一先生より、保育現場は「産後に人を頼る必要性」を伝えられる貴重な場だとお話を頂きました。午後は「子どもの健康」について福岡みずまき母と子の診療所院長、白川嘉継先生より子どもの病気その症状、対応法を細かく教えて頂きました。

乳児保育について様々な視点から学んだ研修内容を生かし、子ども主体の保育ができるよう日々取り組んでいきたいと感じました。

中原保育園 梶島歩

新任保育士研修

今回の新任保育士研修は、北野久美先生が実際に経験された東日本大震災や熊本地震でのボランティア活動のお話から講義が始まりました。ボランティアには「共有」や「役割分担」「仲間・連携」といったキーワードがあり、それは「保育」と共通していると、実際のボランティア活動の写真と合わせてお話をいただきました。また、保育面のお話でも、北野先生が、今までに経験された園での取り組みを写真で拝見させていただき、とても勉強になりました。保育の中で子どもたちの一つの場面を見て、何を感じ取ることができるのか、どのような声掛けができるのか、大切になってきます。また子どもを第一発見者にしてあげることで、子どもの気づきの引き出しを広げ、子どもの興味・関心を増やすことができると教えていただきました。「保育所は最もふさわしい生活の場であり、保育者は最もふさわしい生活の場にいる人である」という言葉が印象的でした。保育園という場はただ子どもを預ける場所ではなく、子どもを育てるところです。保育は1人でするものではなく、子どもはもちろんのこと、保護者の方まで巻き込むことが大切になってきます。また、実際にはの感染対策や北野先生の保育士に

する配慮を丁寧に教えていただきました。そして、そのコロナの対策には、「保育のエッセンス」が詰まっています。コロナ禍のキーワードは、「知識」「意識」「笑顔」です。また、保育士は社会を支える大切な仕事で、コロナ禍であるからこそこれまで以上につながりを持ち、心のディスタンスは密にしておかなければならないと学ぶことができました。今回の学びを今後の保育に活かし、1年目としての自覚を持ち、日々の保育に励んでいきたいと思っています。コロナ禍ではあるものの、実際に対面で貴重なお話をいただき、ありがとうございました。

さかい川保育園 楠根すず

寄付

(二社) 北九州市保育所連盟
(公社) 北九州市私立保育連盟
北九州市保育士会

へご寄付

社会福祉法人 天心報恩会 理事
長 故 吉井 桂子様より保育事業発展のためご厚志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。寄せられましたご主旨を尊重し、有意義に活用させていただきますとともに心から感謝申し上げます。

元気のもと 八幡西区篇

柔道

私は小学生から高校卒業までの12年間柔道をしていました。始めたきっかけは、私の姉が柔道をしており、楽しそうに練習をする姿や、試合で活躍する姿を見て、「カッコいい!!」「私も道着を着たい!!」と思ったことがきっかけです。時に厳しく、時に優しく指導してくれた先生方のおかげで、楽しく柔道生活を送る事ができました。次第に、私も先生方のような指導者になりたいと思うようになり、今では小学生



時代にお世話になった、柔道クラブへ行き、3歳から小学校6年生の子ども達と一緒に練習をし、楽しく身体を動かすことが私の元気のもとになっています。コロナ禍という事もあり、行く回数は減ったものの、「お姉ちゃん!!」と笑顔で駆け寄ってくれる子ども達、「阿部一二三選手のようにになりたい!!」「阿部詩選手のようにになりたい!!」と世界で活躍する選手に憧れ、練習に励む子ども達。試合で勝利することが出来たら満面の笑みを浮かべ私のところまで報告に来てくれます。試合に負けて悔し泣きをする事もありますが、仲間と切磋琢磨し、新しくできる技が増え、その度に喜び合い、励まし合いながら自分の目標に向けて日々の練習にめげずに取り組む子ども達の姿にとっても元気をもたらしています。

柔道に出会えたことで私自身に良い影響を与えてくれたと感じています。

この様な経験を活かし園の子ども達や、柔道クラブの子ども達の日々成長する姿を見て、私自身も保育士として、指導者として、日々成長出来るように、目標を持って頑張ろう!!と思います。

姪っ子 甥っ子

私の元気のもととは、姪っ子と甥っ子です。初めて日中を一緒に過ごす赤ちゃん。初めての入浴・夜泣きとは、こんなに大変な事なのだ!と実践しながらの子育てを、妹と共にさせてもらった子ども達です。姪っ子誕生後は、ヘラヘラと笑うたびに「かわいいね」と話し、離乳食を食べ



な「い」となれば「なんで食べないの? たべなっせ」と方言連発で言い続ける妹に、「大丈夫よ。食べられるようになるよ」と言い、大丈夫!だよねと不安がよぎりながらも励まし続け、今ではしっかりと「野菜から食べる!」と言って食事をするようにになりました。甥っ子に限っては、出産を見守ることが出来ました。出産直後、親族で最初に抱っこさせてもらい、あの重さ(実際に4.3kg越えの、ビックbaby)に、「あの狭いお腹の中にいたのね」という思いと、謎の責任感に一人浸ったものでした。

様々な経験をさせてもらう中で、保育園の子どもの母さん・お父さんの大変さや偉大さをひしひしと感じ、より一層尊敬し、接する気持ちになりました。どうすれ

ば保護者の気持ちに近づけるのか、日々勉強です。そんな思いを巡らせる気持ちを育んでくれたのも、姪っ子と甥っ子の存在があったからです。遠く離れて暮らしているので、会えるのは年末年始やお盆に限られてしましますが、会うたびに大きくなったなあという驚きと共に、(その分私も年齢を重ねることに、気付かされる時でもあります)嬉しい気持ちになります。最近では、少し遅い反抗期を迎えた姪っ子と、なんで怒っているのかわからず、幼いながら頭をフル回転させて、姉の機嫌を取る甥っ子の姿に爆笑しながら今年のお盆を過ごしました。それぞれ、身体も心も成長している仲の良い姉弟を、これからも見守り、いつまでも私の元気のもとである事を確信しています。